

# アニマルランド NEWS

わんぱーくこうちアニマルランド  
No.98 Oct 2020

- 
- ・ 赤ちゃん誕生！アビシニアコロブス
  - ・ ようこそ高知へ！新人獣医師からごあいさつ
  - ・ アニマルランドの新型コロナ対策

3/29～4/8、4/11～5/10

新型コロナウイルス感染予防のため閉園

4/5 わんぱくこうちまつり 中止

4/29 カブトムシ飼い方教室 中止

7/7 ジャガー・リンド 搬出

7/12 カブトムシすもう大会 中止

ワンポイントガイド 再開

7/30,31 サマースクール中止

8/1～ 企画展 高知の哺乳類 開催

8/12 臨時開園

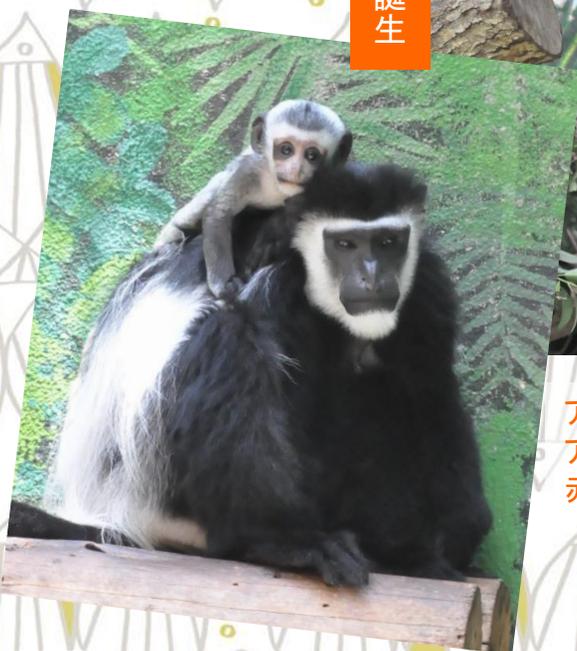
9/1～9/31 敬老イベント開催

9/7午前 台風のため臨時休園

9/17 オニオオハシ 死亡

# 4月から9月

アビシニアコロブス  
誕生

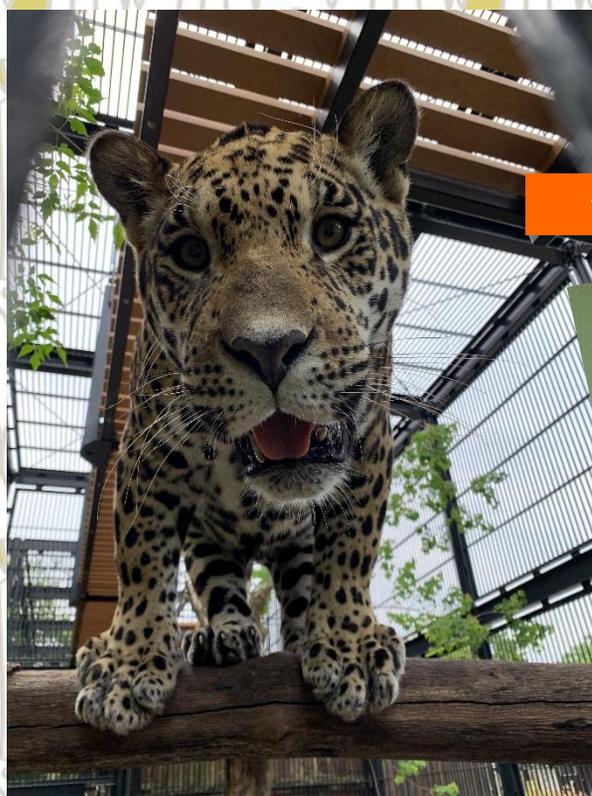


アニマルランドで初めて  
アビシニアコロブスの  
赤ちゃんが誕生しました。



企画展 高知の哺乳類

アニマルランドで飼育している  
高知の哺乳類を紹介しています。



ジャガーのリンド 移動



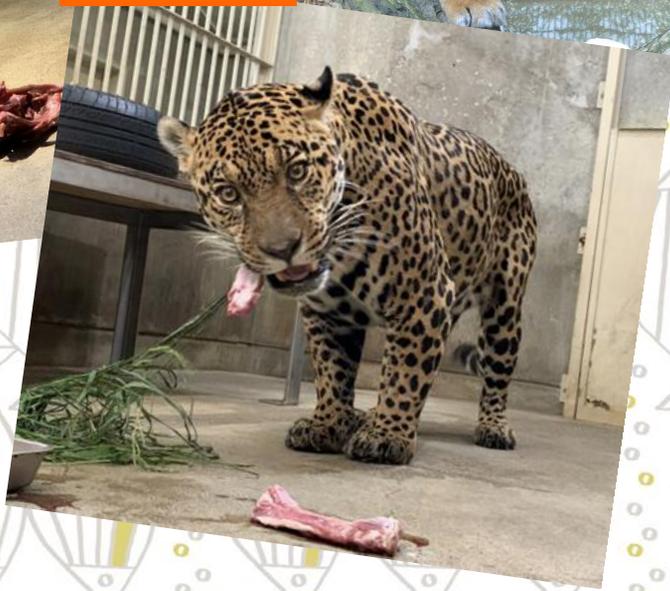
埼玉県の東武動物公園に移動しました。  
埼玉でも元気に過ごしてほしいです。

移動当日。  
大きくなったね。  
少し寂しいけど、また会いに行くね！

# のできごと



祝・誕生日



感染症対策のために、お客様を集めてのイベントはできませんでしたが、それぞれ、お客様に頂いたお肉や遊び道具などでお祝いをしました。

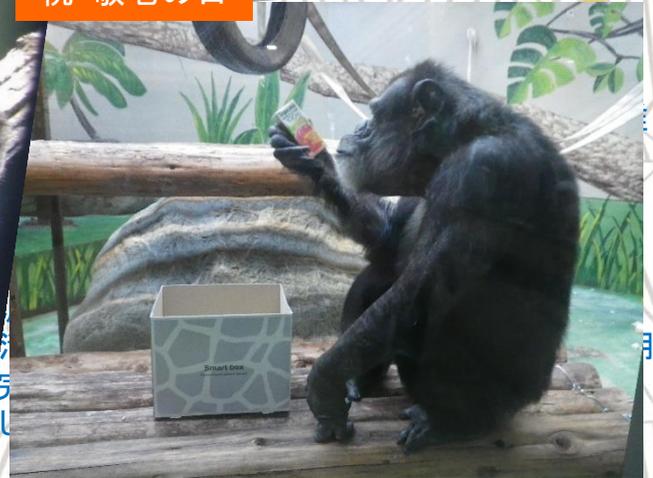


ありし日のオニオオハシ

9月17日に肺出血により死亡しました。  
たくさんの人に愛された人気者でした。



祝・敬老の日

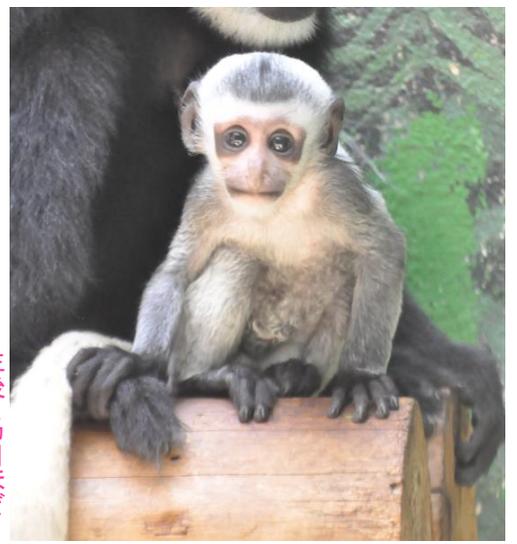


こちらでも感染症対策のために恒例の寄せ書きは飼育スタッフのみとなりました。敬老の日にはチンパンジーのタローさんとニッポンツキノワグマのワカさんに好物をプレゼントしました。2頭ともべろりと平らげていました。

# 赤ちゃん誕生！ アビシニアコロブス



生後2カ月ほど



まだ肌寒い3月19日の朝、聞いたこともない甲高い鳴き声が獣舎に響いていました。まさきに脳裏によぎったのは、まだ1歳になっていないジャガーのこども、リンドに何かあったのではないかということでした。ですがリンドの声にしては甲高すぎる。一体何がどこで鳴いているのか。心当たりがなさすぎて不安になりながら声のする方へ向かうと、まさかの発生源はコロブスの寝室の床！小さくて赤っぽいやら白っぽいやら判らない何かが、全力で大きな鳴き声をあげていたのです。そう、それがのちにゴートと名付けられることになる赤ちゃんとの初対面でした。

我々スタッフの誰も、コロブスが妊娠していることに気付いていませんでした。なにがなにやら訳がわからず、軽いパニックになってしまいましたが、同じように母親であるフィフィもパニックをおこしているように見えました。初産<sup>ひつぜん</sup>なので、仕方ありません。我々がいると落ち着くこともできないと判断し、一度その場を離れることにしました。母親が床に落ちた仔を拾い上げてくれると期待してのことです。仔はまだへその緒がついたままで、出産からさほど時間が経ってはいない様子でした。しばらく誰も獣舎には近寄らないようにし、その間、今後どういった対応をするか急いで話し合いをしました。

1993年の開園以来はじめてのコロブスの繁殖です。当然全員が無事に育ってほしいという思いです。しかし、もしあのまま母親が仔を抱き上げることがなかった場合は、どうするか。まさきに話し合ったのはその点です。他園の経験からも人間の手で育てることは、技術的には可能だろうと思われました。ですが人間に育てられると、将来的に群になじめなかったり、繁殖<sup>はんしよく</sup>に関われない個体になることが多いのです。それでは身体<sup>かいたい</sup>だけ大きくなっても、コロブスとしてしあわせにはなれないのです。そのため、「一部介添<sup>かいぞえほいく</sup>哺育をおこなうことはあっても、基本的に母親の哺育に任せる」という方針に決定しました。1時間ほど経ってから、再び獣舎へ様子を見に行きました。仔のへその緒はついたまま、床にいました。フィフィは仔への関心は強く持っているように見えます。不器用ながらも仔を抱こうともしています。生まれたばかりの仔は、母親にしがみつ<sup>たいばん</sup>くことで体温を保ちます。抱かれ<sup>たいばん</sup>ないまま時間がたち、へその緒と胎盤も付いたままだったため、フィフィと仔が離れたタイミングでいったん取り上げ、処置をすることにしました。



生まれてすぐに母親につかまり運ばれる。つかまる力があるどうかのチェック。しっかりとつかまり元気があったため安心した。



生まれた日。逆さにしたり肩にかついたり危なっかしい。



取り上げた仔は我々の予想とは違い、しっかりと体温も保たれており、抱きつくための四肢の踏ん張りもあります。体重などの身体検査とへその緒の処置をし、すぐに母親の元へ戻すことにしました。この時、オスということもわかりました。

次に、展示場にウッドチップと乾草をたっぷり敷きつめ、ふかふかにしました。仔を落としてしまった時にケガをしないようにするためです。処置の終わった仔をそっと床に置き、そして母親のフィフィだけを展示場へ入れました。これで抱き上げなければかなり絶望的だと、色々な覚悟と緊張感でいっぱいになりながら見守りました。するとフィフィは、少し戸惑った様子を見せたものの、すぐに仔を抱き上げ……否、持ち上げたのです！そう、まるで荷物を肩にかつぐように…。「ええええー！いや、でも、無視したり危害をくわえるんじゃないから、まだ良かった…のか？」と、グルグルと思考回路はショート寸前でしたが、しばらくしたらしっかり抱いてくれるのではないかと、見守り続けることにしました。この時の飼育員たちの見守り姿勢は、少しでもフィフィのストレスにならないように（目が合うと仔を隠したいのか頭の上に持ち上げたり尻尾を掴んでみたりするのです）と離れた位置に小さくなって座ったり、床に寝そべってみたりと、とてもお客様に見せられない姿でした（笑）。この時ばかりは不謹慎ながらも、<sup>ふきんしん</sup>新型コロナ対策でアニマルギャラリーが閉鎖されていて良かったと思いました。翌日には、授乳を確認することができ、少々乱暴なのは心配なもの、このままフィフィに任せようということになりました。

その後もしばらくの間、まるでハンドバッグを脇にかかえるかのようだったり、ことあるごとに仔を頭の上に持ち上げようとしたり、尻尾を噛んでみたりと、本当に毎日ハラハラする子育てでした。ですがフィフィは不器用ながらも仔への愛情は十分にあることはわかりました。次第にしっかりと胸に抱くこともできるようになり、仔も安心して母の胸に抱きつけるようになってきました。もうなにがあっても大丈夫だなと、ほっとした頃には静かで特別な春になっていました。

今回、新型コロナウイルス対策でアニマルギャラリーが閉鎖していたため、みなさまにはゴーの小さな頃をご覧くださいことはできませんでしたが、フィフィにとってははじめての子育てに集中できた良い環境だったのかもしれませんが、最初のころとは見ちがえるほどの過保護ぶりです。ゴーは本当にヤンチャで、日々目まぐるしいばかりの成長をみせています。生まれたばかりは真っ白だった毛も、2ヵ月頃から黒い毛が出てきて、4ヵ月頃にはすっかり親と同じ白黒模様になりました。大人のような長い毛になるのには、まだ時間がかかりそうです。少しずつ伸びていく毛と大きくなっていく体を見ていると、あの時フィフィが不器用ながらもゴーを抱き上げてくれて本当に良かったと感じます。すくすくと、そしてのびのびと育っていく姿を、これからも見守っていきたいと思っています。午後からは寝室への出入りを自由にできるようにしているので、姿が見えないことがあります。ヤンチャに遊ぶゴーの様子をご覧くださいるのは、午前中がオススメです！

(山崎由希)



生後2日目。  
まだ抱けない。



生後2ヵ月ほど。  
黒い部分が増えてきた。



生後半年  
じゅうおうむじんに、とびまわっている。



生後3週間。しっかりと抱けるようになる。  
カメラを向けると母親がこちらを威嚇する。



# ようこそ高知へ！ 新人獣医師から ごあいさつ



保護されたムササビの人工哺育

2020年4月から、わんぱーくこうちアニマルランドで飼育員兼獣医師として働いている、<sup>くにさわ</sup>國澤と申します。大阪出身で、前職はこれまた動物園で福井県で働いていました。この4月に高知県に来て、土地勘もなく、なかなか外出もできず、また生来の方向音痴も手伝って右往左往しながら生活しております。

飼育は、グラントシマウマ、ツキノワグマ、インコ・オウムを担当しています。

前の動物園ではあまり大きな動物はいなかったため、シマウマやツキノワグマなどの大きな動物は、戸惑いながら飼育のやり方を習い、徐々に慣れてきました。

特にシマウマ舎での最初の作業の時は、緊張しました。シマウマは思っていたよりも神経質で、知らない人やモノが近くに来ると、怖がってしまい暴れることがあると教わりました。なるべく刺激しないよう気を付けて作業しましたが、私の緊張が伝わったのか、シマウマたちも余計緊張してしまいました。お互いに距離感を探り合いながら、行動していた感じがします。今は作業にも慣れ、余計な緊張はしていないと思うので、シマウマたちも徐々に私に慣れてきてくれたらいいなと思っています。

ツキノワグマは最初大きいと思いましたが、体重を聞いてみると僕のほうが重いことが分かり驚きました。元々、自分の昔のあだ名が「クマ」だったこともあり、勝手に親近感を持っていましたが、ワカを観察していると、より好きになりました。中々動かないのかと思えば、木に登って高いところにいたり、夏の暑い日には池の中で涼んでいたり、色々な姿を見せてくれます。

本州ではツキノワグマは、人身被害や農業被害で問題になることがあります。四国では野生のツキノワグマの数は少なくなってしまう、その存続が危ぶまれていることを知りました。人との関わり方がなかなか難しいツキノワグマですが、当園のワカがその架け橋になれるよう、学び、伝えていきたいと考えています。

また、保護された野生鳥獣も担当していますが、こちらも初めてのことが多いです。さまざまな鳥や哺乳類、爬虫類などが保護されてくるため、動物の種類の見分け方や適したエサの種類、世話の仕方も学ぶことが必要です。加えて、人に飼育されてきた動物たちとは違うため、できるだけストレスを与えないように気を使ってお世話する必要があると、試行錯誤しています。

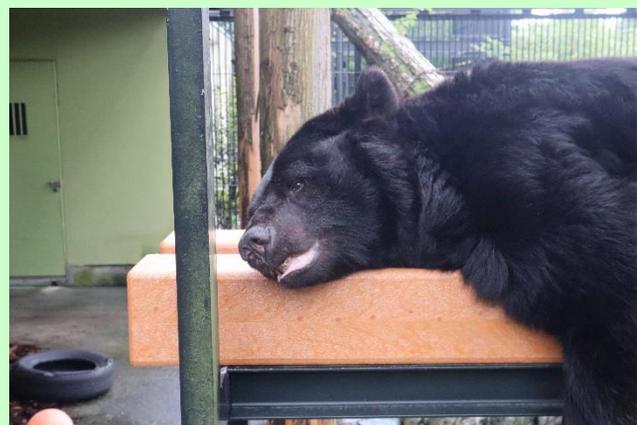
まだまだ慣れないことや知らないことがたくさんあり、失敗もありますが、日々学んでいきたいと思っています。  
(國澤卓磨)



グラントシマウマのペレット



ニッポンツキノワグマのワカ



# アニマルランドの新型コロナ対策

新型コロナウイルス感染症が全国で広がりを見せ、いろいろな施設が時短営業や休業の対策をとりました。わんぱーくこうちアニマルランドでも、2月29日からアニマルギャラリーを閉鎖、モルモットのふれあい、ワンポイントガイドなどを中止しました。3月29日～4月8日までと、4月11日から5月10日まではわんぱーくこうち全体が閉園となりました。わんぱーくこうちまつり、カブトムシ飼育教室、カブトムシすもう大会など、みなさまが楽しみにしていたイベントも中止となってしまいました。

5月11日から開園しましたが、アニマルギャラリーは5月21日から開館としました。ギャラリー内は換気のために非常窓口を開放しています。また、人気のタッチパネルのクイズも使用中止となっています。7月からワンポイントガイドを再開しています。ガイドするスタッフはマスクかフェイスシールドをつけ、大声を出さないためにマイクを使用しています。参加される場合はソーシャルディスタンスを取るようお願いしていますのでご協力ください。また園内各所に手指消毒剤を設置しています。

裏側探検隊は、せまい獣舎のなかに入るために、当面は中止します。

夏休みをいただいていたふれあい広場が10月1日から再開します。モルモットのふれあいも再開予定です。以前はイスに座ってモルモットを抱いていただいていたのですが、当面はイスなしで上から触っていただく対応になります。ご迷惑をおかけしますがよろしくお願いします。また、状況によっては再中止になる場合もあります。

動物への感染はまだよくわかっていませんが、ミンクやマレートラへの感染が報告されています。いずれも動物の症状は軽かったようです。スタッフは基本的にはマスクを着用しています。ただ、熱中症対策のために、お客様から距離をとれる場合は外していることがあります。ご了承ください。

スタッフが感染すると飼育業務に支障が出るため、マスクの着用、体調の管理、手指の消毒等に注意を払っています。また、実習生の受け入れを中止しています。

県内や国内の感染状況によっては、これらの対応が変更になる場合があります。ご来園になる場合は、ホームページ、Facebook、電話等でお確かめの上ご来園ください。  
(久川智恵美)



- ① ソーシャルディスタンスをとってワンポイントガイド
- ② ガラスをさわらないでください
- ③ アニマルギャラリー換気中



# あにまるきゃっち★ №30



猛暑もすぎさり、涼しくなり始めた9月の終わりにトラ舎の前で記念撮影されていたご家族をキャッチ☆新しく完成した記念撮影看板の前でとりました。

左から  
山崎 はる羽桜ちゃん(2さい)  
由里さん  
慎 しんいちろう一郎さん  
一毅 いっきくん(2さい)

佐川町からのご来園です。  
一毅くんと羽桜ちゃんはふたごちゃんです。  
元気よくポーズをきめてくれました♪

## 10月から3月のイベントとお知らせ

開催中～12月15日(火)  
企画展 高知の哺乳類 開催

12月17日(木)～2月2日(火)  
えと展 開催

日・祝 14:30～  
ワンポイントガイド  
動物の解説を飼育スタッフがおこないます。

※ 年末年始の休園  
12月28日～1月1日

※ 中止や延期がある場合があります。  
ホームページ、Facebook、電話等でご確認ください。

### 四国の哺乳類カンバジラリー 開催

10/3～12/27

面河山岳博物館・愛媛県立とべ動物園、横倉山自然の森博物館・高知みらい科学館・わんぱくこうちアニマルランド合同でカンバジラリーを開催します。各園館のいずれかで参加証となるオリジナルトートバッグを購入(1個500円・限定500個)各園館の所定の場所でバッグを掲示し、カンバジリを受け取ってトートバッグにつけよう！

各施設の地図はこちらから→



### ぐるっとドライブまるごと四国

動物園へ行くこう 開催中～2/28

### 四国4県の動物園とSAPAを巡るスタンプラリー

西日本高速道路株式会社 四国支社  
西日本高速道路サービス・ホールディングス株式会社四国支社 主催  
とくしま動物園 北島建設の森・しとり動物園  
愛媛県立とべ動物園・高知県立のいち動物公園  
わんぱくこうちアニマルランドや各SAPAでスタンプを押すことができます。

詳しくは→



### ふれあい広場開放時間

2020年4月1日から以下の時間に変更しています。

- ・10:00～12:00
- ・13:00～15:00

表紙 「アビシニアコロブスの親子」

2020年10月1日発行

発行・わんぱくこうちアニマルランド  
〒781-8010 高知市棧橋通6-9-1  
TEL088-832-0189 FAX088-834-0929  
Eメール kc-171204@city.kochi.lg.jp  
編集 久川智恵美

<http://www.city.kochi.kochi.jp/deeps/17/1712/animal/>  
アニマルランドニュース 4、10月の年2回発行  
ホームページでも配信中

わんぱくこうちアニマルランド 検索